



# 日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

94.8.1 No.4037

## 貨物本社12月ダイヤ改概要提案

JR貨物本社は、七月二十六日、一二月ダイヤ改概要を提案した。貨物本社は、ダイヤ改の主要目的として

- (1) 輸送コストの削減と輸送時間短縮
- (2) 車扱いのコンテナ化の推進と新商品の導入
- (3) 設備投資

の三点を挙げている。第一の COST の削減時間の短縮では、

- ① 大単位直行貨物に優先度を与え、途中停車を可能な限り排し、列車の直行化を拡大
- ② 首都圏内の二大ターミナル(隅田川、東京(夕))発着列車の周辺駅での発着を拡大

第二は、往復輸送形態の拡大として、  
① 車扱い列車のコンテナ化。  
② 多目的コンテナの開発導入を挙げている。

第三の設備拡大では、コンテナ貨車の四〇〇両の新製をはじめ、約一〇〇億円の投資を行うとしている。

また、ダイヤ改実施日は、一二月三日(土)となっている。

JR貨物は、今次ダイヤ改を「白紙ダイヤ改」で臨むと表明してきた。今回の提案は、まさに車扱い(貨車・タンク車など)の全面的見直し(リストラと称している。)とコンテナ列車化を狙ったものになっている。そして車扱いは、石油・セメントなど大量専門の列車

に限定するとともに、平均七五km/時の列車速度を将来一〇〇km/時にまで引き上げようとしているのである。

現在、貨物本社は、一二月ダイヤ改の細部は、九月上旬にも提案するとしている。今次ダイヤ改は、先に発表された中長期計画の出発点である。まさに貨物七〇〇〇人体制への突破口である。同時に、この攻撃は、単にJR貨物にかけられた攻撃ではなく、JR再編一〇万人体制にむけた突破口なのである。

一切の合理化を許さず、闘う体制をつくりあげよう!

### 1. 動力車乗務員が乗務割の制により勤務した場合

	改正	現行
深夜額 (A)	240円	120円
深夜額 (B)	1800円	1200円
乗務加給 (A) (現行乗務加給を改め乗務加給(A))	本線 300円 入換 100円	280円 90円
長距離仕業	廃止 1仕業 250km~350km=400円 1仕業 350km =600円	
乗務加給 (B) (新設)	3円 (乗務1kmにつき)	
仕業加給 (新設)	あらかじめ定められた勤務の始業時刻から終業時刻までの時間、1時間につき、A単価に7/100を乗じて得た額。	

## 貨物本社悪化に併う改乗務手当の改正に

JR貨物本社は、七月二十七日に「乗務員手当の改正について」を提案した。これは、動乗改悪と一体となったものである。基本的には、現行手当の増額になっっているが、長距離仕業手当(一仕業二五〇km以上)が廃止となり、かわりに乗務加給(B)としてキロ当りの手当が新設となった。さらに、あらかじめ定められた勤務の「拘束時間」に対して、一時間につきA単価の一〇〇分の七を乗じた仕業加給が新設となっているが、これは動乗改悪で労働時間から排除した「待ち合わせ時間」手当支給対象時間に含んでいる。

提案された内容は、別表の通りとなっている。

日貨労の八月末動乗妥結を断じて許さず、闘いぬこう!

### 2. 総合鉄道部及び機関区構内の入換作業のために乗務した場合

	改正	現行
深夜額 (A)	240円	120円
乗務加給 (A)	60円	50円